

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

2036年の目指す姿

不動産事業を核として、多様な価値創造をおこない、変革・進化・成長を続ける企業グループ

連結経常利益
1,800億円

総IT容量
100MW超

高耐震建物比率
100%

全保有建物再エネ化
100%

2 中長期の経営戦略

1. 不動産事業の高度化と効率化

流動性の高いアセットとインフレ耐性アセットへの投資、高難度バリューアッドの推進、都市型データセンター事業の拡大で先行者利益を活かしてトッププレイヤーを目指す

3. 財務規律の維持と資本政策強化

JCRより「AA-」格を取得。成長投資と格付AA維持を両立させ、厳格なバランスシート管理と高いROE維持、株主還元強化で企業価値向上を追求

2. 収益力の複合化と事業ポートフォリオ拡…

観光・こども教育は運営事業の収益最大化、環境・インフラは再エネ・蓄電池の投資運営売却で事業化、高齢者施設5,000室活用、次世代アセット・スポーツエンタメ事業を推進

4. サステナビリティ経営の進化

脱炭素・災害対策を加速。RE100達成後、2029年全保有建物再エネ化100%、高耐震建物100%達成を目指す。人材育成・女性活躍・ガバナンス強化を推進

3 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性への対応

- ・ 海外経済・情勢の不確実性に注視が必要
- ・ 金融市場の変動の影響に対処

② 不動産事業環境への対応

- ・ 建築費高騰を背景とした新規供給減少への対応
- ・ 金融機関の融資姿勢を活用した投資市場対応

③ 海外事業の展開

- ・ 人口成長・経済成長国の実需ニーズあるアセットに限定した投資
- ・ 先進国・稼働物件を主軸とした流動性確保

面接で使えるポイント

- ・ 2036年の目指す姿として不動産を核に多様な価値創造を目指し、10年の新・中長期経営計画を策定した先見性
- ・ 都市型データセンターで2036年までに総IT容量100MW超供給、トッププレイヤーを目指す成長戦略
- ・ 高齢者施設5,000室やアリーナ開発などで、観光・健康・エンタメ事業など多角化する経営ポートフォリオ戦略

証券コード 3003

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
7,274億円営業利益率
25.7%財務健康度
46点 /100点

将来性 曇り / 就活偏差値 65.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
2,295万円

不動産業内 1位/130社

平均年齢
39.0歳

不動産業内 70位/131社

平均勤続
7.0年

不動産業内 56位/131社

女性管理職
21.5%

不動産業内 17位/76社

男性育休
100.0%

不動産業内 6位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

東京都中央区に本社を置く不動産企業で、連結営業収益の約9割を不動産事業が占めてい

主力事業・セグメント

- 不動産 91.6%
- ホテルRyokan 7.9%
- 保険Agency 0.6%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高7,274億円の事業規模
- 営業利益率25.7%と高い収益性
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 7/7(火) 福岡香奈女流五冠vs伊藤沙恵女流四段 ヒューリ

